

2012 年度運営方針

～わかりやすく届ける・つながりを強化する～

- 1 子どもの人権が尊重され、子どもへの暴力のない社会の実現にむけて、CAP プログラムの考え方、さらにはプログラムそのものの普及をめざす。そのために、社会とのつながり、様々な他団体とのつながり、そして CAP 活動に関する覚書 (MOU) を交わした地域の CAP グループとのつながりを強化する。
- 2 社会への発信を今まで以上に積極的に行ない、子どもの人権擁護に取り組む社会資源としての CAP をアピールして、会員増員、寄付金増額で 2012 年度の単年度黒字をめざす。



(1) 2012 年度事業方針

①持続可能な CAP 活動をめざした事業を実施する。

- ・ユース世代にむけた子どもへの暴力防止活動への参画のためのアプローチをさらに進める。
 - *第 2 事業：兵庫県、東京都における専門学校生・大学生・大学院生のための子どもへの暴力防止のための基礎講座の開催
- ・多職種・多領域において子どもの視点に立った子どもへの暴力防止アプローチを推進する（分野をつなぐ・協働）とともに、積極的な広報に取り組む。
 - *第 2 事業：子どもへの暴力防止のための基礎講座の開催
 - *第 4 事業：広報 子どもの人権、子どもへの暴力防止に関わる情報の発信
 - *管理部門：新たな事業の創出を図る

②各地域における CAP 活動を展開しやすくするため、支援体制の充実と資金確保を行ない、地域の CAP グループとの協働を促進する。

- *RTC：地域 CAP グループの活動のサポート
- *管理部門：助成金の獲得に努める
- *第 6 事業：地域 CAP グループとの協働

③多様な手法を用いながら社会発信をさらに強化・促進する。

- *第 4 事業：広報 ホームページやブログ、ツイッターの活用
- *第 4 事業：出版 CCJ ブックレット子どもたちと明日をつくろう②の発行
- *第 6 事業：他団体のホームページやメールマガジンへの事業案内の掲載

(2) 2012 年度 RTC 活動方針

①あらゆる研修の機会をとらえ、CAP 活動のフレームの共有・情報の共有をはかる。

②これまでの活動とこれからの活動をつなぐ。

- *地域で活動する CAP グループとのコミュニケーションの促進に努める。
- *地域会議への参加・派遣

③CAP プログラムの将来にむけての可能性を模索する。

- *CAP プログラム導入時のアプローチや CAP 活動のフィールドを広げるための工夫など、地域や CAP グループのサクセスストーリーを情報収集し、RTC 全体で共有を行なう。